

Oct.ITERO#8:終わりの日々に神にとって時代の価値を

持ち、時代を転換する^{1/25-31} **OL Summary:** **I.** 神は、この

時代を終結させ、王国の時代をもたらすことを願っています。神はこの事を完成するために、彼の時代の手段を持たなければなりません。

A. 私たちはみな、神にとって

時代の価値を持つように主を仰ぎ見て、祈るべきです。

私たちは、自分の行なっている事を考慮して、この時代

を終結させ、次の時代、王国の時代をもたらす必要があります。

これは特別な時です。ですから、特別な信者たちが特別な働きを行なう必要があります。

B. 「行きなさい」と言うことができるだけで、「来なさい(come)」と

言うことができない人たちは、何の役にも立ちません。すなわち、彼らは神にとって何の時代の価値も持っていないでしょう/

私たちは三つのものに、すなわち、至聖所に、恵みの御座に、神ご自身に進み出る(come forward)必要があり

ます。退いてはなりません。進み出なさい。

C. 男の子が天に携え上げられること、サタンが地に投げ落とされること、

王国が来たとき天で宣言されることが表徴するのは、

神が男の子を得ることが、神の最も大なる時代の行動であるということです。なぜなら、それは召会の時代を終わらせ、

王国の時代をもたらすからです。

D. 男の子が神の御座に携え上げられることは、三年半(四十二か月)の大患難の時である千二百六十日の前に起こります。

E. 私たちは最も特権的な時代に生きています。私たちはその時代において神のために最も多くのことを行なうことができます。

神は光として、私たちに道を示しますが、内住するキリストは私たちの強さと力として、私たちにその道を歩ませることが

できます。今、用いられるためには、大きな代価を払わなければなりません。

II. 召会は神の定められた御旨に到達していないので、神は一群れの勝利者を選びます。

勝利者は神の定められた御旨に到達し、神の要求を満たします。これが男の子の原則です:

A. 宇宙的な輝く女は、神の民の総合計を表しています。そして究極的に、創世記3:15の女の子孫は拡大されて、男の子によって表徴される、勝利を得た信者たち、すなわち、神の民のさらに力強い部分を含みます。

B. 復活したキリストは命を与える霊として、かたちを変えた女の末女の子孫です。彼は私たちの中へと分与され、私たちの中で蛇の頭を打ち砕き、私

たちを団体の女の子孫、勝利を得る男の子とならせ、太古の蛇に対する神の裁きを遂行し、私

たちを神の時代の手段とならせて、時代を転換し、神の王国の実現をもたらします。

C. 詩篇2:8~9、啓示録2:26~27、啓示録12:5が示しているのは、神の油塗られた方としての主イエス、諸召会における勝利者たち、男の子が鉄の杖をもって諸国民を支配するということ

であって、これは主イエスと勝利者たちと男の子がーであることを証明するということです。主は導く勝利者として、男の子のかしら、中心、実際、命、性質であり、男の子は従う勝利者として、主のからだです。

D. 十字架上で主の死を通して、古い蛇であるサタンは裁かれ、追い出されました。その裁きと判決は、男の子(団体の女の子孫)としての勝利者たちによって究極的に遂行され、執行されます。勝利を得た信者たちによって遂行されるサタンとの戦いは、実はサタンに対する主の裁きを執行することであり、最終的にサタンが天から投げ落とされること

です。

E. 男の子は勝利者たちから成っており、召会を代表して

立ち、召会全体が取るべき地位を取り、召会に代わって働きを行ないます。**F.** 男の子が携え上げられることは、サタンに天でもはや立場を持たせなくする戦略です。私たちは、携え上げられて、神の敵に対して神の裁きを執行することによって、神の必要を満たさなければなりません。

G. 男の子を構成する者たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、悪魔(訴える者、中傷者)、すなわち神の敵であるサタンに打ち勝ちます。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛しません。

H. 男の子の全存在は、キリストの要素で浸透され飽和されています。なぜなら、男の子は日ごとに、彼らの内なる人の中へと増強されているからです。そうして、キリストは彼ご自身を彼らの心の中へと建造し込み、彼らはキリストの計り知れない豊富で養われつつあり、神のすべての武器としてのキリストを着ます。

III. イスラエルが七十年間、捕囚にされていた時、神は真の勝利者であったネヘミヤのゆえに、なおも時代の行動を持っていました。ネヘミヤは、神にとって時代の価値を持つ者の模範です:

A. ネヘミヤ記の極めて重要な点は、エルサレムの都とその城壁の再建が神の選民の間で神の証しを継続的に回復して神のエコノミーを完成することであったということであり、またそれが都の内側にある神の家にとって防衛と保護でもあったということです。

B. 私たちは、キリストを私たちの命として認識し享受するとき、召会を神の家として持ちます。もし私たちがさらに前進してキリストの頭首権を認識するならば、家は拡大されて、都、すなわち神の王国となります。

C. ネヘミヤ記が示しているのは、私たちが今日の主の回復の中で正常な進取性を持つ必要があるということです/モアブ人とアンモン人のリーダーたちは、ネヘミヤがイスラエルの子たちの益を求めていることに、大いに怒りました。彼らは口の不純な増し加わりの子孫であって、イスラエルの子たちを憎み、さげすみました/これらの反対者たちのあざけり、さげすみ、そしりに対して、ネヘミヤはとて純粋で進取的であって、臆病ではありませんでした/進取的な人は神から助けを受けます。

D. ネヘミヤは彼の天然の人の中ではなく、復活の中で生きました。彼は進取的でしたが、彼が進取的であったことは、他の特徴も伴っていました/ネヘミヤは神を愛した人として、交わりの中で神に祈り、神と接触しました。城壁を再建するために、ネヘミヤは神の言葉に立ち、神の言葉にしたがって祈りました。

E. 総督ネヘミヤは、王の地位にあり、エルサレムの城壁を再建するために、神のエコノミーを遂行することで心の純粋な人でした。彼は、神の民の間でリーダーがどうあるべきかの模範でした/イスラエルとユダの多くの王とは異なり、ネヘミヤは利己的ではなく、自分の利益を求めず、情欲にふけりませんでした。

F. ネヘミヤは支配者でしたが、全く野心はありませんでした。この事は下記の事実によって示されています。すなわち、国を再構成することで、神の言葉をもって神の民を再構成するために、ネヘミヤはエズラを必要としたことを認めていたということです。

G. ネヘミヤは人類歴史上の完全なリーダー、最高のリーダーであり、長老たちがどうあるべきかの最高の模範でした。私たち、特に召会で導いている者が、ネヘミヤの模範を考察することは確かに価値があります。それは、私たちが神を獲得し、人に神を流し出す模範となって、時代を転換するためです。

CP1:救いのかぶとを取り、サタンの訴えに抵抗し、恵みの御座に進み出て、タイムリーな助けとなる恵みを受ける

OL1:私たちはみな、神にとって時代の価値を持つように主を仰ぎ見て、祈るべきです。私たちは、自分の行なっている事を考慮して、この時代を終結させ、次の時代、王国の時代をもたらす必要があります。これは特別な時です。ですから、特別な信者たちが特別な働きを行なう必要があります。

啓12:5 彼女は一人の子、男の子を産んだ。この子は鉄の杖で、すべての諸国民を牧養することになっている。彼女の子供は、神に、神の御座に携え上げられた。

OL2:至聖所に、恵みの御座に、神ご自身に進み出る(come forward)必要があります。退いてはなりません。進み出なさい。**ヘブル10:22** 私たちの心はすすがれて邪悪な良心から離れ、体は清い水で洗われ、真実な心で、信仰の全き確信をもって、至聖所に進み出ようではありませんか。

OL3:男の子が天に携え上げられること、サタンが地に投げ落とされること、王国が来たときで宣言されることが表徴するのは、神が男の子を得ることが、神の最も大いなる時代の行動であるということです。なぜなら、それは召会の時代を終わらせ、王国の時代をもたらすからです。

神はある事柄に対するご自身の態度を変えられる時、時代の行動をなさいます。それぞれの時代の行動は、神の新しい道をもたらします。神の最も重要な時代の行動は、啓示録 12 章にあります。神は、この時代を終結させ、王国の時代をもたらすことを願われます。

男の子が携え上げられることは、召会の時代を終わらせ、王国の時代をもたらします。男の子によって、神は行動することができるようになります。

神の願いは、墮落した被造物を被造物が対処することです。神の定められた御旨によれば、召会全体がサタンを対処すべきなのです。しかしながら、召会は失敗しました。ですから、勝利者たちが立ち上がる必要があるのです。神の定められた御旨は勝利者たちにおいて果たされます。なぜなら、彼らは神と共に働くからです。私たちは勝利者たちの原則を、神の言葉を通して見ることができます。

ヘブル書の著者は、「進み出るように(進んで来るように)」と告げています。...この句は数回、ヘブル書で使われています。すなわち、「恵みの御座に進み出よう」(4:16)、「至聖所に進み出よう」(10:22)、「神に進み出る」(7:25、11:6)。私たちは三つのものに、すなわち、至聖所に、恵みの御座に、神ご自身に進み出る必要があります。退いてはなりません。進み出なさい。

勝利者になるとは、患難を逃れることがおもなことでありません。私たちは、携え上げが私たち自身にとってではなく、主にとってどのような価値を持つかを見なければなりません。時代のすべての行動の中で、男の子が最も大いなるものです。なぜなら、それは人の力と悪魔の力を取り除き、王国をもたらすからです。私たちは最も特権的な時代に生きています。私たちは神のために最も多くのことを行なうことができます。光は私たちに道を示しますが、強さと力は私たちにその道を歩ませることができます。今、用いられるためには、大きな代価を払わなければなりません。

適用:新人及び青少年・大学生編

新人や若者の皆さんは、神の目に「時代の価値のある人」になってください。それは、神が時代を転換する時、神が時代を変える手段として用いることができる人です。あなたの人生で時代を転換させる機会があるとはなんと驚くべきことでしょう! あなたがどんな人生を歩もうとも、人生プランの中心に勝利者になることを据えてください。

勝利者はサタンの訴えに抵抗することができる人です。サタンは何時も、昼も夜も、あなたの思いの中に、脅迫、思い煩い、心配などの消極的な思想を注入してきますが、あなたは主の中で強められ、救いのヘルメットを取り、思いをサタンの攻撃から守ってください。サタンは、クラスメイトの間で、生徒と先生の間で、会社の同僚や上司、夫婦の間で、親子の間で、互いに不信感を持つように、両者に働きかけます。例えば、あなたと気の合わないクラスメイトに対して、あなたには「彼はグループであなただけをいじめようとしている」と言い、そのクラスメイトには、「彼はあなたに強烈な悪意を持っているので、攻撃しないとイケない」と言います。その結果、両者の敵意は増強されます。

エペソ6:17 また救いのかぶとを受け取りなさい。

FN「救いのかぶと」:救いのかぶとを受け取るのは、邪悪な者によって投げ込まれた消極的な思想に対して、私たちの思い、知性を覆うためです。サタンは私たちの思いの中に、脅迫、思い煩い、心配、人を弱くさせるその他の思想を注入します。神の救いは、これらすべてに抵抗して私たちが取るおおいです。

あなたは更に積極的に、至聖所に、恵みの御座に、神ご自身に進み出て(come forward)、主と交わるべきです。サタンは嘘つきの父ですので、彼が語るあらゆることは虚偽です。あなたは決して虚偽の言葉に騙されてはいけません。しかし、神の言葉は真理です。あなたは、神の言葉を用いて、主と交わるために、恵みの御座に進み出てください。**ヘブル4:15** 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情することのできない方ではなく、罪のないことは別にして、すべての面で私たちと同じように試みられたのです。**16** ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見出すために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。

あなたが恵みの御座に進み出れば、時機を得た助けとなる恵みを得ます。例えば、兄弟たちが議論して争いになる時、人に対する思いやりや同情する感情が時機を得た助けとして供給され、不和から救われます。また、姉妹たちが感情的になって、本来の道筋からそれてしまった時、物事の本質を理解する知恵が時機を得た助けとして供給されます。

あなたは決して落胆して退いてはなりません。励まされ、大胆に至聖所に進み出て、前進し続けてください。**祈り:**「おお主イエスよ、私は多くの失敗と弱さの中で、失望することが多くあります。しかし私は落胆せず、あなたの血を取り、大胆に恵みの御座に進み出ます。恵みの御座に進み出れば、あなたはタイムリーな助けとなる恵みを与えてくださいます。この恵みは、私のあらゆる必要なものの実際としてのあなたご自身です。主よ、私を退かず、いつも進み出る者にしてください。アーメン!」

CP2:御言葉に対し旺盛な食欲を持ち、個人的に、瞬間ごとに主とやりとりをして、女(召会)の中の男の子となる

OL1:十字架上で主の死を通して、古い蛇であるサタンは裁かれ、追い出されました。その裁きと判決は、男の子(団体の女の子孫)としての勝利者たちによって究極的に遂行され、執行されます。啓12:7 さて、天では戦いがあった。ミカエルとその御使いたちが、龍と戦ったのである。龍とその使いたちは戦った。8 しかし、彼らは勝てなかった。そして、天にはもはや、彼らの場所はなくなった。9 こうして、その大きな龍、あの太古の蛇、「悪魔」とか「サタン」とか呼ばれる者、人の住む全地を欺く者は、投げ落とされた。彼は地に投げられ...た。**OL2:**男の子は勝利者たちから成っており、召会を代表して立ち、召会全体が取るべき地位を取り、召会に代わって働きを行ないます。

OL3:男の子が携え上げられることは、サタンに天でもはや立場を持たせなくする戦略です。私たちは、携え上げられて、神の敵に対して神の裁きを執行することによって、神の必要を満たさなければなりません。

OL4:男の子を構成する者たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、悪魔(訴える者、中傷者)、すなわち神の敵であるサタンに打ち勝ちます。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛しません。10 今、私たちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。私たちの兄弟たちを訴える者、昼も夜も私たちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。11 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった。

男の子の一部分になろうとするなら、あなたは更に多く食べ、更に多く成長し、更に強くならなければなりません。それを実行上の用語で言うなら、更に多く祈り、更に多くの時間を主と共に過ごし、更に多く御言を食べ、更に多く主を経験し、更に多く命の中で成長し、更に多く消極的なことを対処しなければなりません。他の人がよくうわさ話をして、あなたはしないでしょ。他の人が祈ろうとしなくても、あなたはいつそう祈るでしょう。あなたは女から離れてはなりません、他の人たちとはいづらか異なっているべきです。女(召会)はあまりにも一般的です。男の子の一部分である者はいづらか特別です。主の回復の中の親愛な人たちの多くは無関心です。彼らは食欲がほとんどなく、多く食べたがりません。しかし、男の子の中にいたいなら、あなたは無関心であってはなりません。あなたは特別で、冷静で、真剣でなければなりません。あなたは旺盛な食欲を持ち、個人的に、直接的に、瞬間ごとに主とやりとりをしなければなりません。...あなたが男の子の中にいるかどうかは、あなたが神の願い、神の行動、神の永遠のエコノミーにどのように反応するかにかかっています。昼も夜も前進して、あなた自身を完全に、徹底的に神のエコノミーにささげるまでになるなら、あなたは男の子の一部分になるでしょう。

男の子が携え上げられることは、何人かの個人が携え上げられるという問題だけではなく、それ以上のことであり、幾時代も幾世代も続いてきた戦いを終わらせることです。...いったん男の子が引き上げられると、龍はそれ以上、増大することができないだけでなく、天から投げ落とされます。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

終わりの時代に、主は勝利者を召しています。男の子(一群の勝利者)が天に携え上げられると、サタンは天におれなくなり、天から投げ落とされます。一群の勝利者は、幾時代も幾世代も続いてきた戦いを終わらせます。彼らは神によって用いられる時代を転換する器です。

あなたが一群の勝利者、男の子の一部になりたいなら、更に聖書を読み、更に主と交わり、更に王国の福音を伝え、更に奉仕すべきです。消極面では、救いのヘルメットをかぶり、サタンの脅迫、思い煩い、心配、提案などを一切拒絶してください。日本人は真面目なので、サタンからの提案や脅迫を、真面目に受け止め易いです。あなたはサタンの提案を考慮する必要は一切ありません。ただ、拒絶するだけです。

兄弟の証し:私は救われる前、サタンの消極的な提案や脅迫を聞き続け、いつも弱くさせられていました。救われてしばらくしてから、これらがサタンの訴えであることが分かりました。以前、私は日本人の文化の真面目さの中にいて、いつもサタンの脅迫や心配をまともに受けとめて、いつも弱く、消極的で、非常に神経質な性格になっていました。

例えば、サタンは、「誰もあなたに期待していないので、頑張っても無駄なので、怠惰な生活を過ごせばいいよ」、「彼はあなたを褒めていたが、それは真実な言葉ではない。実は彼は裏ではあなたを批判していた」とささやいてきました。私はこれらの言葉をまともに受け入れ、弱くさせられていたのです。しかし、聖書を読むと、そこには、警告の言葉もありますが、多くの積極的な言葉、励ましの言葉、祝福の言葉で満ちていました。私は聖書を読むことで、自分の感覚が聖書と乖離(かいり)していることに気付きました。そして、私の内側の消極的な感覚が、実は私自身からではなく、サタンからであることが分かりました。

その後、私は聖書の言葉や務めのメッセージから神の願い、神の行動、神の永遠のエコノミーについて聞き、それに積極的に応答し始めました。**ヨシュア1:9** 私はあなたに命じたではないか? 強くあれ、大胆であれ。恐れてはならない、おののいてはならない。あなたがどこへ行っても、エホバ・あなたの神があなたと共にいるからである。

1986年からの台湾の全時間訓練の前に、台湾の各地で訓練に参加するように励ます多くの集会がありました。その集会で多くの台湾大学の学生や医者兄弟姉妹が献身する証しを聞きました。サタンは私に、「彼らの証しは素晴らしいが、あなたには主に捧げる素晴らしいものがない」と言ってきました。しかし、私は「悪魔サタンよ、私は何も持っていないが、私は自分の体を捧げ、自分の心と霊を捧げて主を喜ばせることができる。サタンよ、退け!」とサタンの提案を拒絶して、劣等感から解放されました。

祈り:「主よ、終わりの時代に、主は勝利者を召しておられます。主の召しに応じて女の強い部分、男の子となるために、救いのヘルメットをかぶります。日本人の真面目さに従ってサタンの訴えを聞くことなく、サタンの話は一切拒絶します。更に多く祈り、更に多くの時間を主と共に過ごし、更に多く御言を食べ、更に多く主を経験し、命の中で成長し、男の子の一部分になることができますように。」

CP3: ネヘミヤはとても純粋で進取的であって、臆病ではなかった。進取的な人は神から助けを受ける
OL1: イスラエルが七十年間、捕囚にされていた時、神は眞の勝利者であったネヘミヤのゆえに、なおも時代の行動を持っていました。ネヘミヤは、神にとって時代の価値を持つ者の模範です。**OL2:** ネヘミヤ記が示しているのは、私たちが今日の主の回復の中で正常な進取性を持つ必要があるということです。モアブ人とアンモン人のリーダーたちは、ネヘミヤがイスラエルの子たちの益を求めていることに、大いに怒りました。彼らは口の不純な増し加わりの子孫であって、イスラエルの子たちを憎み、さげすみました。これらの反対者たちのあざけり、さげすみ、そしりに対して、ネヘミヤはとても純粋で進取的であって、臆病ではありませんでした。進取的な人は神から助けを受けます。

ネヘミヤは、「天の神ご自身が、私たちが繁栄させてくださるのだ。それゆえ、彼のしもべである私たちは、起き上がって建てるのである。しかし、あなたがたにはエルサレムで何の分け前も、権利も、記念もない」(2:20)と答えて言いました。この答えは、ネヘミヤがとても進取的であったことを示しています。彼は確かに臆病ではありませんでした。臆病な者はだれも、神のしもべになることはできません。敵どもは怒り、非常に憤慨して、再びユダヤ人たちをあざけり、彼らの工事をさげすみました。ネヘミヤは神に信頼し、彼らの辱めを彼らに返してくださるようにと祈りました。こうして、ユダヤ人は城壁を建造し、すべての城壁はみな連なって、その半分の高さに達しました。それは、彼らに働く心があったからです。今日、どれだけあざけられ、さげすまれても、私たちは建造する心を持ち、進取的になるべきです。**OL3:** ネヘミヤは彼の天然の人の中でではなく、復活の中で生きました。彼は進取的でしたが、彼が進取的であったことは、他の特徴も伴っていました。ネヘミヤは神を愛した人として、交わりの中で神に祈り、神と接触しました。城壁を再建するために、ネヘミヤは神の言葉に立ち、神の言葉にしたがって祈りました。列王上8:48 心を尽くし魂を尽くしてあなたに立ち返り、...彼らの地、あなたが選ばれた町、私があなたの御名のために建てた家に向かってあなたに祈るなら。**OL4:** 総督ネヘミヤは、王の地位にあり、エルサレムの城壁を再建するために、神のエコノミーを遂行することで心の純粋な人でした。彼は、神の民の間でリーダーがどうあるべきかの模範でした。イスラエルとユダの多くの王とは異なり、ネヘミヤは利己的ではなく、自分の利益を求めず、情欲にふけりませんでした。**OL5:** ネヘミヤは支配者でしたが、全く野心はありませんでした。国を再構成することで、神の言葉をもって神の民を再構成するために、ネヘミヤはエズラを必要としたことを認めていました。**OL6:** ネヘミヤは人類歴史上の完全なリーダー、最高のリーダーであり、長老たちがどうあるべきかの最高の模範でした。

適用: 奉仕者編

召会の奉仕者であるあなたは、ネヘミヤの進取性から学んでください。ネヘミヤ2:17 私は彼らに言った、「あなたがたは、私たちがいる悪い状態を見ている。エルサレムは荒廃し、その城門は火で焼かれている。来て、エルサレムの城壁を建て上げ、これ以上私たちが辱めを受けないようにしましょう」。18 そして、私の神の御手が、私の上ですばらしかったことについて、また王が私に語っ

た言葉について、私は彼らに告げた。そこで彼らは、「起き上がって建てよう」と言った。彼らはこの良い仕事のために彼らの手を強めた。19 ところが、ホロニ人サンバラと、しもべであるアンモン人トビヤと、アラビア人ガシムはこれを聞いて、私たちをあざけり、私たちを侮って言った、「あなたがたは王に反逆しようとするのか?」。20 (左下の御言葉を見る)集会所購入の証し(前編):私たちは主の必要に応じるために進取的に集会所を購入してきました。毎回の集会所の購入で、神からの大きな助けがありました。1999年の夏に本山集会所の土地を購入し、2000年4月に集会所が完成しました。当時、召会の人数は15名ほどでしたので、集会所を建てることはとても難しいことでした。しかし、私たち夫婦が進取的に集会所の建設のことに取り組んでいる時、義父が約半分の金額をサポートしてくれました。神に感謝します。魚崎集会所は2004年11月に購入しました。魚崎集会所は台湾の留学生がきっかけを作りました。彼が親からお金を借りて、後の留学生のためにマンションを購入し、献品してくれました。私はこの事に感動し、主に促されて集会所を探し、取引している不動産業者から市場に出る前の物件を紹介してもらいました。その翌日の土曜日に、おもだった兄弟姉妹を連れて物件を見てその場で、購入を決定しました。この物件は、当時の小泉政権が強力に推進していた銀行の不良債権処理物件で、2.5~3.0億円かけて建てた物件でしたが、7000万円で購入できました。留学生、小泉政権、不動産業者を通して、神が助けてくれました。六甲の学生センターは1.6億円かかりました。魚崎の時は銀行から7000万円借りましたが、2005年に宗教法人を取得した後、銀行から借りることができなくなりました。私たちは困り果てましたが、最終的に台湾の二人の義弟の名義で台湾の銀行から資金を借りることができました。2008年に土地を6300万円で購入しました。台湾への返済時に、円高のゆえに為替差益を得て、5000万円を4000万円で返済できました。また、欧陽兄弟の助けを受けて台湾の同労者集會に参加して、学生センターの必要を交わりました。この後、台湾の諸召会から多くの献金を受けました。JGWや日本の他地方からのサポートもありました。更に、2009年の建設開始の時に、壺の埋蔵文化遺産が見つかったので、半年完成が遅れました。その結果、資金を集める余裕を持つことができました。神の大きな助けに感謝します。来週、後編を交わります。

マタイ6:19 あなたがたは、自分のために地に宝を蓄えてはならない。そこでは、シミ虫やさびが食い尽くし、盗人が穴を開けて盗む。20 むしろ、自分のために天に宝を蓄えなさい。そこでは、シミ虫やさびが食い尽くすことはなく、盗人が穴を開けて盗むこともない。

祈り:「主イエスよ、神戸に在る教会の各地区に集会所があつて、今そこで私たちが豊かな召会生活をエンジョイできるのは、ネヘミヤのように進取的に集会所を建て、そのために捧げてくださった兄弟姉妹のゆえです。私も建造する心をもって進取的に財物を必要のために捧げます。純粋で進取的な人は神から助けを受けます。天の神ご自身が、私たちが繁栄させてくださいます。それゆえ、彼のしもべである私たちは、起き上がって建造します!」